

北海道スペースポート（HOSPO）射場-1（LC1）運用計画策定に向けた情報提供要請（RFI）

2024年12月16日

大樹町 企画商工課 航空宇宙推進室

1. 背景・目的

北海道スペースポート（HOSPO）は、「北海道に、宇宙版シリコンバレーをつくる」というビジョンの実現に向けて、2021年4月から本格稼働している民間にひらかれた商業宇宙港です。2019年に「北海道スペースポート構想」を公表して以来、大樹町及びSPACE COTAN 株式会社は、HOSPOの運営やロケットの打上げ支援業務等をはじめ、航空宇宙産業発展に向けた研究・開発並びに地域創生を含むビジネス機会の提供をサポートしています。2024年12月現在、HOSPOでは実験用の射場-0（LC0）に続いて射場-1（LC1）を整備中であり、2025年度の完成後に順次運用を開始し、2027年までに最初の軌道投入用ロケットの打上げを目指しています（LC1概要：添付-1）。

今般、今後のLC1運用計画を策定するにあたり、LC1からの軌道投入用ロケットの打上げを想定・計画している打上げ事業者の皆様、また将来的にLC1からの軌道投入用ロケットの打上げを検討いただける事業者の皆様に対して、打上げ計画について情報提供要請（RFI: Request for Information）させていただきます。なお、本RFIはSPACE COTAN 株式会社に委託して実施いたします。

2. 提出締切

2025年1月10日（金）17時（日本時間）

3. 対象者

日本の法令に基づいて設立された法人及び海外法人（ただし、輸出貿易管理令別表第3に定める国の法人であること）

4. 情報提供の内容

以下の情報について、現時点の想定・計画を提出して下さい。なお、③、④については確度がわかるよう、可能な限り具体的に記載をお願いいたします。フォーマット、ページ数は問いません。

- ① 提供者情報（お名前、所属機関、役職、住所、電話番号、メールアドレス）
- ② 事業計画（中長期的な計画）
- ③ 打上げ計画
 - (ア) 打上げロケットの概要
 - (イ) 打上げ時期及び打上げ回数
 - (ウ) 射場運用・打上げ運用の概要
- ④ 射場への要求・要望事項
- ⑤ その他の参考情報

5. RFI以降の進め方

4項で提供いただいた情報を基に、確度が高い打上げから優先的にLC1の運用計画に反映するとともに、スケジュール調整が必要となる打上げの識別・解決方策の検討を進めて参ります。準備が整った打上げから、順次打上げサービス

契約の調整を開始させていただく予定です。

6. 情報提供の方法

2 項の受付期間内に、以下のメールアドレス宛に提出願います。

kaneko-koji@spacecotan.com

7. 問合せ先

情報提供にあたり、ご質問・ご不明な点等ございましたら、以下までメールにてお問い合わせ下さい。

SPACE COTAN 株式会社 金子広二

kaneko-koji@spacecotan.com

8. 留意事項

- A) 提供いただいた情報は、LC1 の運用計画策定の目的のみに使用いたします。情報提供にあたり、秘密保持契約が必要な場合は、6 項の問合せ先までお知らせ下さい。
- B) 提供いただいた情報は返却いたしませんので、ご了承下さい。
- C) ご提供いただいた情報について、質問等、SPACE COTAN 株式会社の担当者からご連絡をさせていただく場合がありますので、予めご了承下さい。

以上